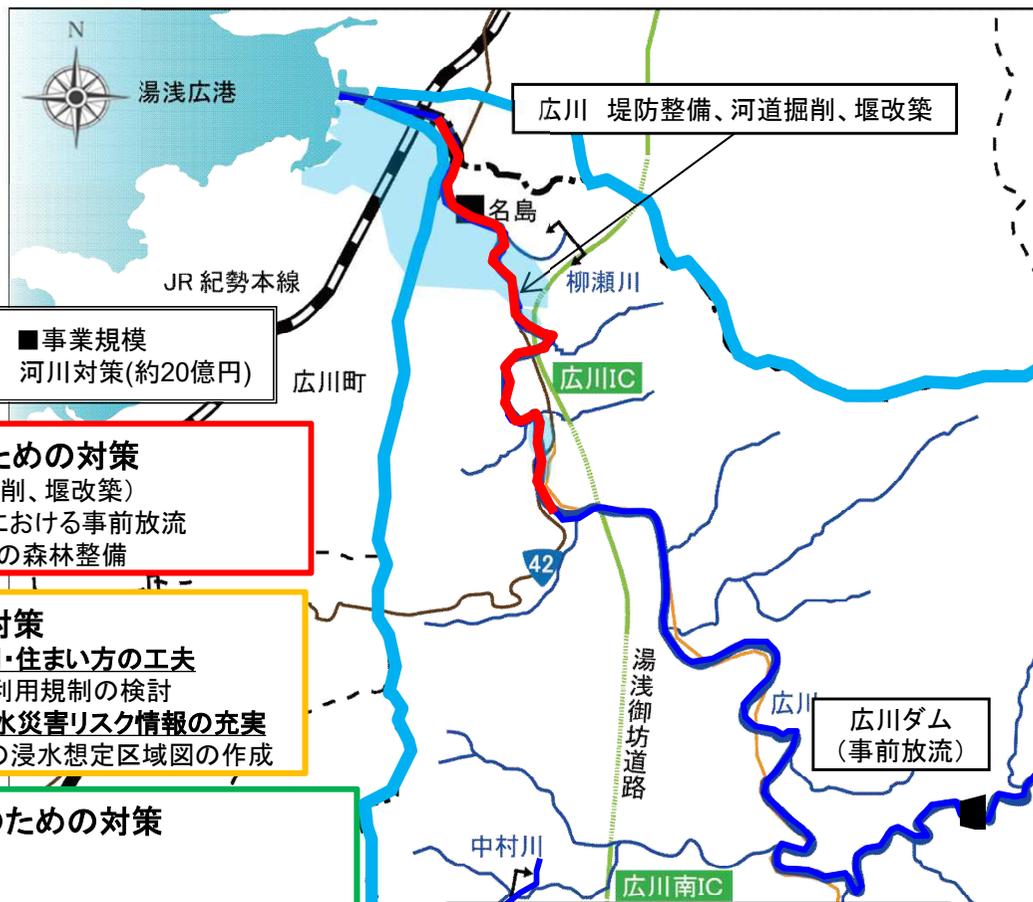


二級水系
流域治水プロジェクト

広川流域治水プロジェクト

～濱口梧陵が津波からの住民救済に尽力した広川町を流れる広川における流域治水～

○広川流域において、昭和50年8月洪水と同規模の水災害による被害を軽減するための治水対策を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、浸水被害の軽減を図る。



凡例

- ⇄ 県管理区間
- 流域界
- 河川における対策
- 浸水範囲 (昭和44年6月豪雨)

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
洪水氾濫対策 広川(堤防整備、河道掘削、堰改築)
流水の貯留機能の拡大 ● 広川ダムにおける事前放流
流域の雨水貯留機能の向上 ● 間伐等の森林整備

■ 被害対象を減少させるための対策
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫
 ● 農振地域の農転の監視 ● 土地利用規制の検討
まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実
 ● まちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
土地の水害リスク情報の充実
 ● 水害リスク情報の空白域の解消 (支川等における浸水想定区域図の作成)
あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
 ● 水位計・監視カメラ等の設置・増設
 ● 防災教育や避難訓練等の実施
避難体制等の強化 ● ハザードマップの作成・周知
 ● タイムラインの作成・運用
 ● 避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進
 ● 避難所の安全対策、誘導体制等の構築・強化
 ● 避難時間確保のための体制等の構築・強化
経済被害の軽減 ● 排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備



*具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

広川流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～濱口梧陵が津波からの住民救済に尽力した広川町を流れる広川における流域治水～

● 広川流域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、町、国、民間等が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、広川での堤防整備、河道掘削等を行い、治水安全度の向上を図る。
- ・ 被害対象を減少させるための対策として、農振地域の農転の監視やまちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成を行う。
- ・ また、浸水リスク等を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するにあたり、土地利用規制の検討を行う。
- ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として水害リスク情報の空白域の解消のため、支川等の浸水想定区域図、ハザードマップ作成を行う。

【中長期】

- ・ 広川水系河川整備計画に基づく、計画規模の改修を完了させ、流域全体の治水安全度の向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、堰改築	和歌山県	河川整備計画に基づく改修(広川)	
	広川ダムにおける事前放流	和歌山県	広川ダムにおける事前放流	
	間伐等の森林整備	森林整備センター、和歌山県	間伐等の森林整備を実施	
被害対象を減少させるための対策	農振地域の農転の監視	湯浅町、広川町	農振地域の農転の監視を実施	
	土地利用規制の検討	和歌山県、湯浅町、広川町	浸水リスク等を踏まえた安全・安心なまちづくりを推進するにあたり、土地利用規制等の検討を実施	
	まちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成	和歌山県	まちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の空白域の解消(支川等における浸水想定区域図の作成)	和歌山県	支川等における浸水想定区域図の作成	
	水位計・監視カメラ等の設置・情報提供	和歌山県	河川水位情報や河川カメラ映像の提供を実施	
	防災教育や避難訓練等の実施	和歌山県、湯浅町、広川町、気象台	防災教育や避難訓練等の実施	
	ハザードマップの作成・周知	和歌山県、湯浅町、広川町	ハザードマップの作成 ハザードマップの周知・啓発	
	タイムラインの作成・運用	和歌山県、湯浅町、広川町	作成したタイムラインの見直し及び適切な運用の実施	
	避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進	和歌山県	避難場所の安全レベルの設定 防災ナビアプリの普及啓発の実施	
	避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化	湯浅町、広川町	避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化	
避難時間確保のための体制等の構築・強化	湯浅町、広川町	避難時間確保のための体制等の構築・強化		
排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用	和歌山県	配備済みの排水ポンプ車、可搬式ポンプの活用		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。